

富士河口湖町簡易水道事業 経営戦略 概要版

1. 経営戦略改定の趣旨及び計画期間

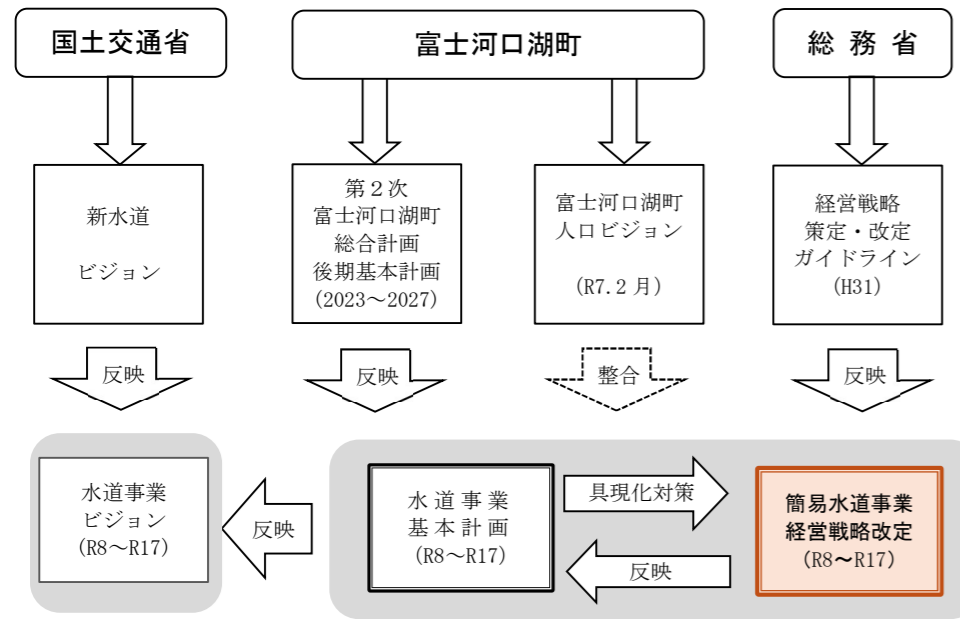
1.1 経営戦略改定の趣旨

富士河口湖町では、将来にわたり安全で安定した水道水を供給し続けるため、令和2年12月に水道事業経営戦略を策定し、令和6年度には公営企業会計への移行により、経営基盤の強化に取り組んできました。

その後、コロナ禍で一時落ち込んだ観光需要の回復に伴う水需要変動への対応や、災害対応力の強化などが求められていることから、これまでの取組と課題を整理し、現状と将来を見据えた経営戦略の見直しを行うものです。

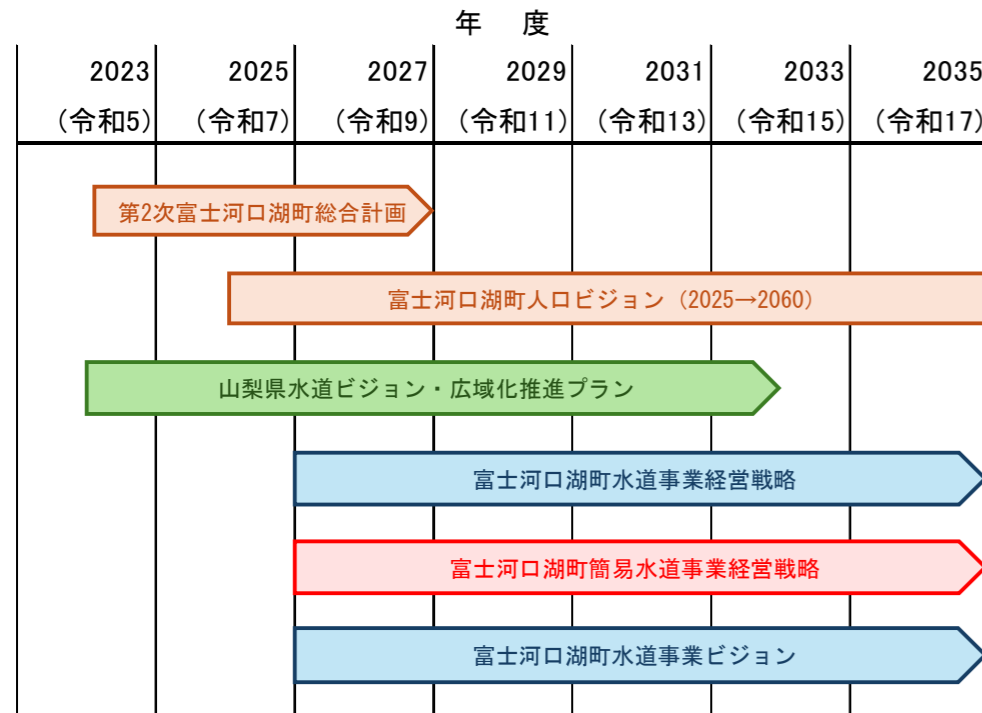
1.2 計画の位置づけ

経営戦略は、関係諸計画との整合を図ります。



1.3 計画期間

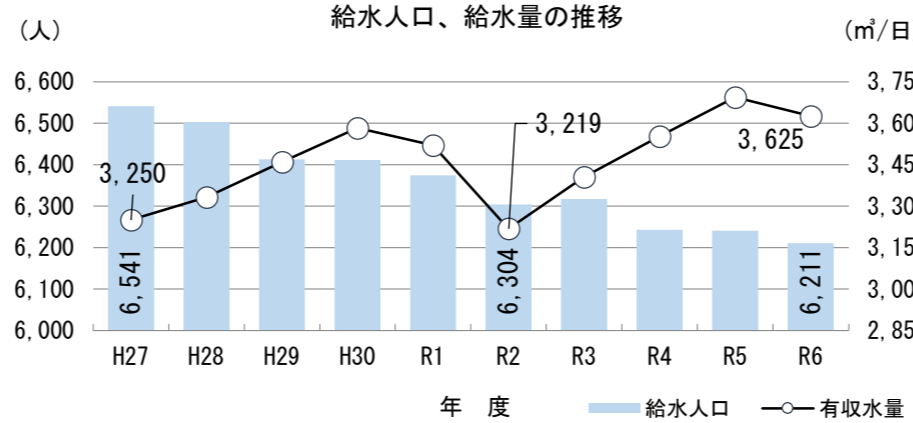
計画期間は、令和8年度から令和17年度の10年間とします。



2. 水道事業の現況

2.1 水道事業の現況

創設認可年月日	本編簡易水道事業の沿革参照	計画給水人口	8,640人
法適(全部・財務) ・非適の区分	法適用(一部)	現在給水人口	6,211人
水源(休止・予備除く)	地下水26箇所、湧水5箇所、表流水1箇所	有収水量密度	0.72千m ³ /ha
配水池	配水池20基	管路延長	160.1km
施設能力	8,265m ³ /日	施設利用率	64.82%



2.2 経営の状況

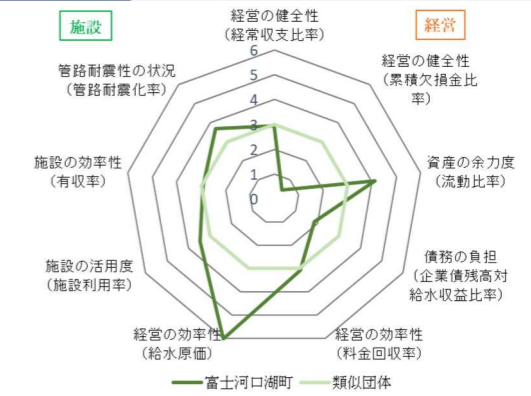
本町の簡易水道事業は、令和6年度から公営企業会計を適用しています。令和6年度における事業全体の決算では、収益的収支は黒字ですが河口湖簡易水道事業及び足和田簡易水道事業は赤字であり、一般会計からの補助金等により経営を維持しています。資本的収支の支出超過分は、損益勘定留保資金で補っています。

年度	全体	河口湖	足和田	上九一色
給水収益	84,631	41,462	14,066	29,103
その他営業収益	220	182	12	26
営業外収益	152,483	76,249	30,494	45,740
特別収益	7,291	5,416	536	1,339
計①	244,625	123,309	45,108	76,208
営業費用	75,822	35,638	17,577	22,607
減価償却費	152,286	82,924	25,921	43,441
その他営業費用	0	0	0	0
営業外費用	12,929	6,714	1,589	4,626
支払利息	29	19	10	0
その他営業外費用	488	52	20	416
特別損出	241,554	125,347	45,117	71,090
計②	241,554	125,347	45,117	71,090
損益①-②	3,071	▲2,038	▲9	5,118
供給単価(円/m ³)	63.97	50.86	71.18	93.82
給水原価(円/m ³)	115.89	93.43	138.90	160.25

年度	全体	河口湖	足和田	上九一色
企業債	93,700	36,500	0	57,200
負担金他	38,645	35,627	2,710	308
計①	132,345	72,127	2,710	57,508
建設改良費	124,178	61,268	7	62,903
企業債償還金	52,311	20,867	9,028	22,416
その他	0	0	0	0
計②	176,489	82,135	9,035	85,319
不足額①-②	▲44,144	▲10,008	▲6,325	▲27,811
損益勘定留保資金	36,123	7,677	6,325	22,121
積立金	0	0	0	0
財補	8,021	2,331	0	5,690
源 填	44,144	10,008	6,325	27,811

2.3 経営指標による評価

項目	全体	河口湖	足和田	上九一色	類似団体
経常収支比率(%)	98.45	94.09	98.84	105.94	100.59
累積欠損金比率(%)	119.97	125.20	389.07	0.00	18.31
流動比率(%)	201.15	251.01	137.67	138.17	146.79
企業債残高対給水収益比率(%)	1823.75	2262.20	1345.30	1430.35	1124.56
料金回収率(%)	55.20	54.43	51.25	58.55	53.53
給水原価(円/m ³)	115.89	93.44	138.90	160.25	236.73
施設利用率(%)	64.82	79.03	52.64	57.46	56.35
有収率(%)	67.66	70.32	57.80	68.33	69.33
耐震適合率(%)	66.92	56.42	59.93	81.79	44.00



■経常収支比率

経常収支比率とは、給水収益や一般会計からの繰入金等により、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賅っているかを示す指標です。100%以上であれば単年度収支が黒字、100%未満であれば赤字を示し、経営改善が必要となります。

■累積欠損金比率

累積欠損金とは、過年度から積み重なった損失のうち、利益剰余金等で補填できずに残っている額をいいます。累積欠損金がある場合は、経営の健全性に課題があるため、経営改善が必要となります。

■企業債残高対給水収益比率

本指標は類似団体平均より高いものの、有収水量1m³当たりの企業債残高は類似団体と比べて概ね適正な範囲にあります。したがって、比率が高い主因は、事業規模に対して給水収益が相対的に低いことにあると考えられます。

■料金回収率

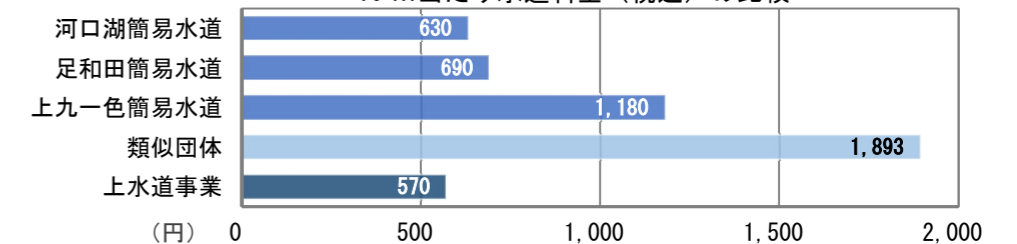
料金回収率とは、供給単価に対する給水原価の割合を示す指標です。100%未満の場合、給水収益だけでは給水原価を賅っておらず、料金水準が原価を下回っていることを示します。このため、原則として100%以上の確保が必要です。

2.4 水道料金体系

水道料金表 (2月当たり：税抜)

事業区分	基本料金(2ヶ月)	超過料金(1m ³ につき)	メーター使用料(2ヶ月)						
			13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm
河口湖簡易水道(大石・河口・浅川)	20m ³ まで 1,000	40	150	300	320	560	640	2,520	3,380
河口湖簡易水道(松風台)	20m ³ まで 1,000	40	720	880	960	1,200	1,340	3,200	3,800
足和田簡易水道	20m ³ まで 1,110	52	150	300	320	560	640	2,520	3,380
上九一色簡易水道	20m ³ まで 2,000	80	150	300	320	560	640	2,520	3,380

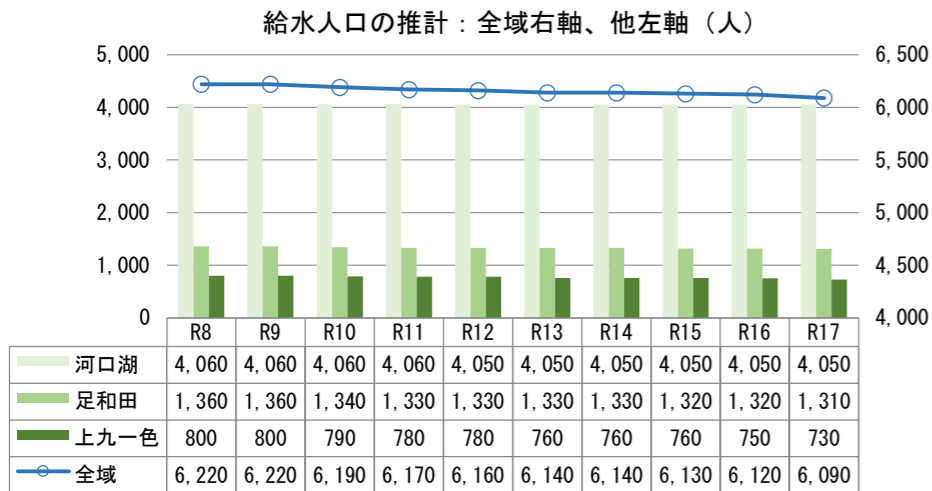
10m³当たり水道料金(税込)の比較



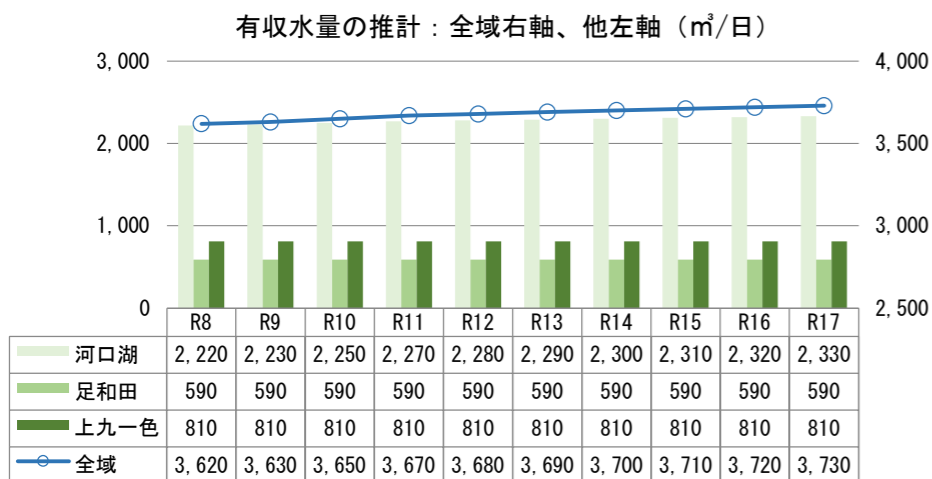
3. 将来の事業環境

3.1 水需要予測

給水人口は、全ての事業において緩やかな減少傾向となる見込みです。

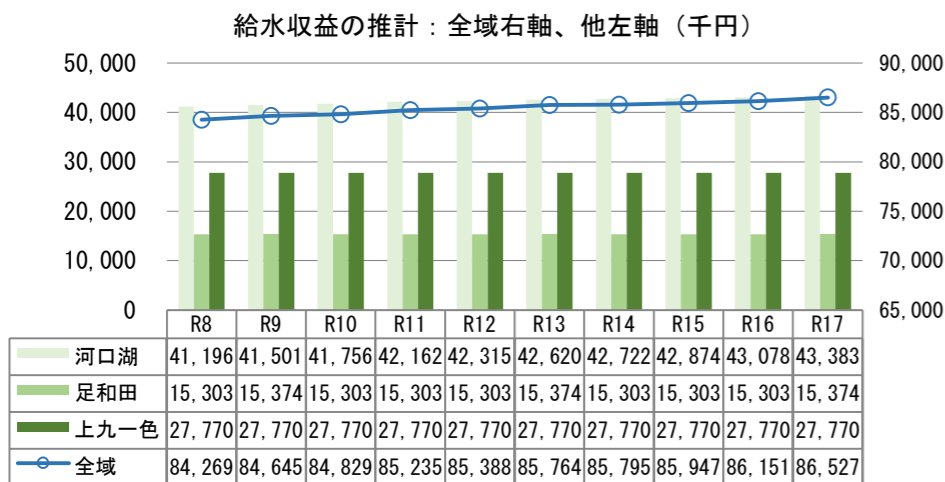


有収水量は、インバウンド等による需要増を背景に河口湖簡易水道事業は緩やかな増加傾向となる見込みで、それ以外の事業は現状維持程度となる見込みです。



3.2 給水収益の予測

給水収益の予測は、水需要予測における有収水量の推計値に、直近の供給単価を乗じて行います。今後の給水収益は、有収水量同様緩やかな増加傾向となる見込みで、目標年度の令和17年度には令和6年度実績に比べ約2.3%の増加となる見込みです。



4. 目標の設定

4.1 将来像及び基本理念

将来像及び基本理念を以下のとおりとし、町民の皆様と連携したより良い水道事業の運営に努めます。

将来像

— ひとと地域を思いやる水道 —

基本理念

- 強靱：使いやすい安定的な水道
- 安全：安心して快適な水道
- 持続：安定供給を続ける水道

4.2 経営目標

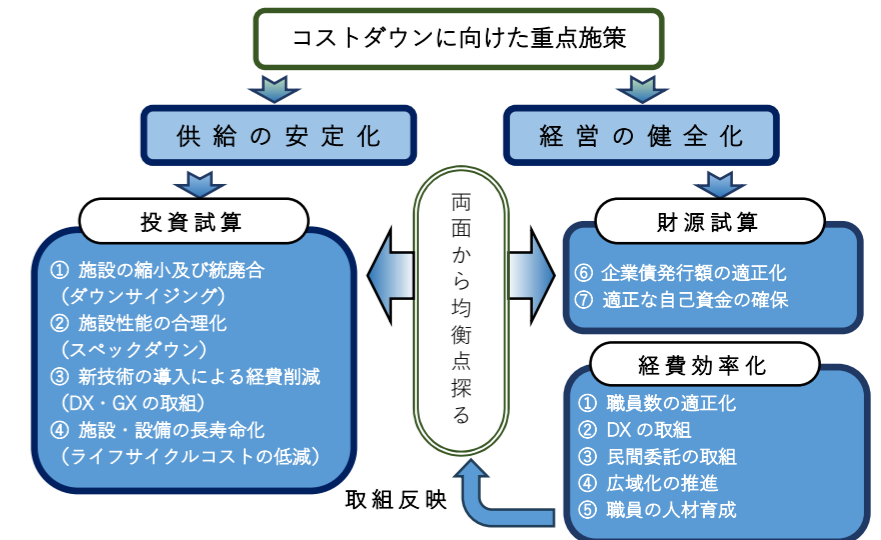
項目	単位	R6年度実績	類似団体(R6)	目標値(R17)	
財政試算					
(1) 経常収支比率	%	98.45	100.59	100以上	
(2) 累積欠損金比率	%	124.44	18.31	40以下	
(3) 流動比率	%	201.15	146.79	200以上	
(4) 企業債残高対給水収益比率	%	1,823.75	1,124.56	1,000以下	
(5) 料金回収率	%	55.20	53.53	100以上	
(6) 給水原価	円/m ³	115.89	236.73	145.00	
(7) 施設利用率	%	64.82	56.35	64以上	
(8) 有収率	%	67.66	69.33	67以上	
投資試算					
(1) 有形固定資産減価償却率	%	4.68	37.62	—	
(2) 管路経年化率	%	33.44	15.20	—	
(3) 管路耐震化率	全体管路	%	66.92	—	70.00
	基幹管路	%	54.18	44.00	—
(4) 管路更新率	%	0.23	0.17	0.35	

4.3 投資目標

施設整備は、施設の更新及び管路耐震化（改良）に重点を置き、令和17年度までの投資計画を以下のとおりとします。

項目	内容	目的	事業費(千円)
河口湖簡易水道事業			
浅川水系配水池・水源築造工事	SUS製 V=300 m ³ 配管工事	老朽施設更新 耐震性確保	317,148
御坂配水池除マンガン施設設置工事	除マンガン施設	適正水質確保	99,000
施設の定期更新	設備の更新、管路更新(耐震化)	老朽施設更新	264,200
小計			792,420
足和田簡易水道事業			
施設の定期更新	設備の更新、管路更新(耐震化)	老朽施設更新	105,000
上九一色簡易水道事業			
精進青木ヶ原配水池更新事業	SUS製 V=150 m ³	老朽施設更新 耐震性確保	142,600
施設の定期更新	設備の更新、管路更新(耐震化)	老朽施設更新	104,400
小計			247,000
本休工事費計			
事務費	委託費	各種設計	109,950
小計			1,254,370
	消費税		125,437
合計			1,379,807

5. 経営戦略の基本方針

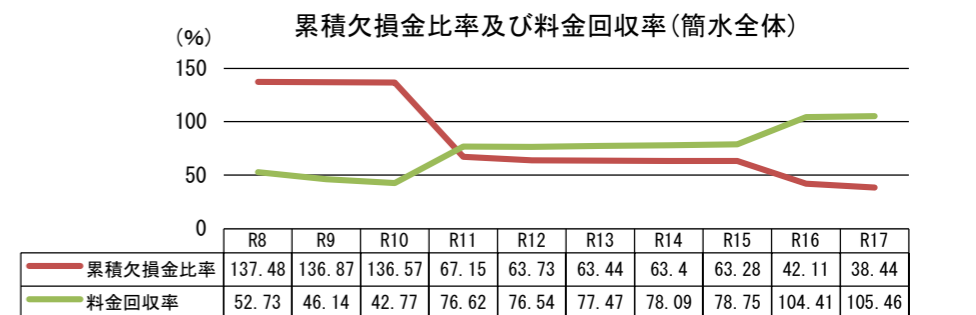
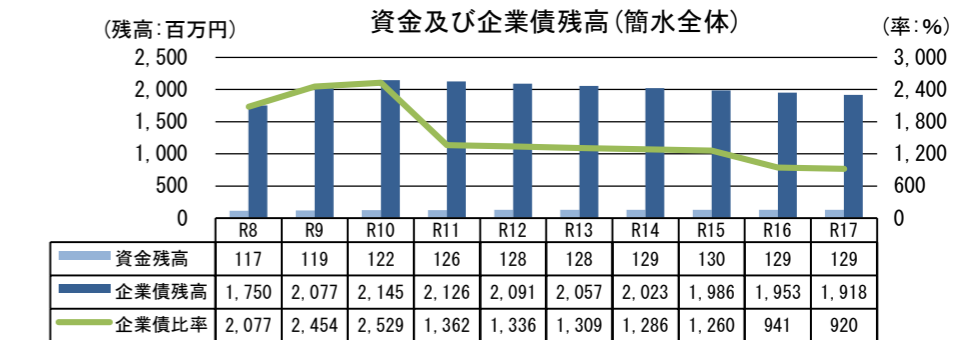


6. 財政収支計画

事業の独立採算制を目標に、令和11年度及び令和16年度に料金改定が必要です。これにより各指標値が改善されていきます。

所要料金改定率

事業名	河口湖	足和田	上九一色
令和11年度	100.0%	70.0%	65.0%
令和16年度	20.0%	45.0%	45.0%



7. 進捗管理

経営戦略は令和17年度までを計画期間としていますが、今後は多額の投資に加え物価高騰により、経営環境の厳しさが増すことが見込まれます。このため、毎年度の進捗確認と、概ね3～5年ごとの見直しを行い、持続可能な事業運営につなげます。

